

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」



西合志第一小学校
学校だより 第37号
文責 校長 西村羊治
令和6年9月13日

すばらしい生徒と学生！

9月9日～13日にルーテル学院大学の学生1名（西合志第一小・西合志中卒業）、9月10日～12日に西合志中学校の生徒4名（西合志中央小卒業）が、職場体験に来てくださいました。5名とも立派な学生さん、生徒さんでした。（本当です！）大学生は1年生で、中学生は、陸上部・バドミントン部・野球部・クラブチームで硬式野球をしている2年生でした。朝の挨拶やさわやかな笑顔、各職員に対してはもちろん、児童に対する関わり方もすばらしかったです。緊張しているはずですが、初日から物怖じせず1年生から6年生までの児童に優しく関わってくれました。私が、中学生の時のことを考えたら絶対にできなかつたと思います。まだ大学1年生、まだ義務教育中の中学2年生が、こんなに立派に育っていることが嬉しかったし、5名全員が関わった西合志中等の先生方、またそれぞれの親御さんのご指導や関わりのすばらしさを感じました。



西合志中学校の立派な生徒さん



大学生とはいポーズ！

以前、西合志中学校の体育大会のことを話題に学校だよりを書きましたが、今回さらに西合志中学校の教育のすばらしさを感じました。今回の生徒や学生に関わられた先生方の爪の垢を煎じて飲まないといけない、と思いました。・・・笑

中学生は3日間、大学生は5日間の職場体験でしたが、「この間、長く感じましたか、それとも短く感じましたか。」と尋ねると、みんなが元気に「短かったです！」と即答してくれました。最終日、本校職員を前にした立派なお礼の挨拶と重ねると、充実した時間を過ごしてくれたと感じ、嬉しかったです。（将来、教師になってくれるといいなあ～という願望も湧いてきました。）すばらしい生徒さん、学生さんを本校に送り出してください、本当にありがとうございました。

すべての人の居場所のある学校！

私は右肩腱板断裂回復手術のため、9月9日の午後から第一小学校に復帰しました。入院先の病院から夏休み明け集会や職員会議には参加したのですが、パソコン画面を通したオンラインだったので、早く子ども達や職員に会いたいと思っていました。夏休みをはさんだと言っても6週間も学校に行っていなかったので、ワクワクした気持ちで学校に向かいました。職員玄関のドアを開けると気持ちのこもった welcome ボードがありました。感動し、嬉しかったです！また、各教室に行くと「あっ、校長先生だ！」「大丈夫ですか！」「肩を手術したんでしょ！」と子ども達が声をかけてくれました。「第一小学校に自分の居場所があること」「待っていていた子ども達、先生方がおられること」に感謝です。子ども達はもちろんですが、職員にとっても自分の居場所があることの大切さを感じました。転入生1人加えた89名と20名の職員全員の安心できる居場所のある学校づくりをしていきます。



病室から集会にオンライン参加



心のこもった welcome ボード